

地区社協の活動と取り組みを紹介しします

春山地区

「地域共生社会」の実現に向けて

春山地区内は、県立美術館、市立図書館、フェニックスプラザ（福井市社会福祉協議会）、福井大学などのある文教地区となっています。又、春山2丁目には橋本左内先生の生誕地跡もあり、毎年4月には生誕祭がおこなわれています。

春山地区社協の活動も「コロナ禍の中で満足に行われませんでした。特に、公民館祭りと同時に開催していましたが「福祉まつり」は3年間行っていないのが残念です。しかし、民生委員を中心に一人暮らし高齢者の皆さんに年5回の弁当の宅配は継続しています。これは安否確認もかねています。12月の弁当宅配では、毎年「さくら



さなプレゼントも一緒に届けます。高齢者の皆さんはとても喜ばれます。近年、全国的に自然災害が多発しています。春山地区では公民館の呼びかけで「春山

地区防災訓練」や春山地区社協が共催となり「春山地区防災セミナー」を行いました。令和4年11月13日、春山小学校体育館での「防災セミナー」では、（社）日本災害看護学会の酒井明子理事長による「高齢者の防災対策」南越前町災害から学ぶ」と題しての講義がありました。「南越前町の災害時では、あらかじめ避難する水位を決めていたことから、早めの避難につながった」など、実践に基づいた話をいただきました。しかし、課題があります。高齢者や障がい者の避難が大変だと。これからは「福祉避難所」の設置や充実を考えなければいけないと話されました。なお、このセミナーは春山地区自主防災会連合協議会が主催し、春山地区社協、地区婦人会など多くの皆さんの協力がありました。

国の呼びかけで地域共生社会の実現が求められています。われわれも福祉とは何かを考えて、多くの人たちと協力し、地域共生社会の実現を目指そうではありませんか。

春山地区社会福祉協議会

副会長 大島 友治

東安居地区

つながる ひろがる

地域福祉の輪（和）

東安居地区は、福井市の西部に位置し、大型ショッピングセンターがあるから、園芸生産団地を形成するビニールハウスや水田、新興住宅地と混在した街並みが広がる地区です。近年、新興住宅地の占める人口の割合が多くなっていることや、少子高齢化が進んでいることが問題となっています。

ここ数年、コロナ禍の影響を受け、参加される方も少なくなってきましたが、様々な制限のある中、工夫を凝らし、活動が続けてきました。月1回の食事サービス事業は、外注のお弁当に切り替え、大規模だった敬老会は少人数制の「米寿を祝う会」に変更、児童館・児童クラブと連携している世代間交流事業は、「高齢者と児童のオンライン交流」やビデオメッセージにするなど、これまでのつながりを絶やすことなく、活動を続けてきました。通年継続している「おたより運動」は、敬老の日に対象者（800名）に小学生や中学生による手作りメッセージカードをお届けし、大変喜ばれています。

さらに、令和4年度は、少しでも多くの方が参加できるように、自治会型デイホーム事業で、ニースポーツのモルックを各公園などで実施し、老若

男女問わず楽しみ、交流ができました。今後、地域の中で住民同士の助け合いや交流から、人とのつながりを大切にお互いを思いやり支え合つ心を育くむよう、地域福祉活動を歩ずつ進めていきたいと思います。

東安居地区社会福祉協議会

会長 竹内 清



小学生・中学生の
手作りの
メッセージカード



スケッチさん手作りの
お弁当の表紙カバー
です

公園にてモルックで交流

